

# 30年度 自己評価公表結果シート

作成 高木幼稚園

## 1.本年度、重点的に取り組む目標とその設定理由

<p>①教職員が子どもの安全を守るために取り組む                  ②子どもが健康な生活を送るために環境を整え導いていく                  ③子ども達が喜びや楽しさを感じられる保育を実践する</p> <p>前年度の評価項目を踏まえて、園全体として教職員の意識を高め、共通理解ができるような評価しやすい内容に設定した。</p>
--

## 2.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	達成・取り組み状況及び考察
危険を想定した指導方法を考え実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難用すべり台を滑る際に危険に繋がるようなことがあった為、子どもに合わせた使い方に改める必要があった。また、周囲の見慣れた状況に慣れず、常に変化に付いて報告し合う必要があった。</li> <li>・消防関係者を迎えての避難訓練を実践することができた。交通ルールの実践指導までできるとよかった。</li> </ul>
園内の遊具や設備の安全点検を強化し、情報を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で確認をしたことをミーティングや放送等で報告をし合い、職員同士で共通理解をすることが出来た。今後は進級をした子ども達にも改めて園での過ごし方や、遊具の使い方を細かい所まで伝えていきたい。</li> </ul>
危機管理に対するマニュアルの内容を把握し行動する。  子ども達自ら危険を回避できるよう考え行動する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルに沿った避難訓練は行ったが、様々な状況を想定しその際の危機管理対策が今後の課題である。</li> <li>・予告なしの避難訓練を予定していたが、実践に至らなかった。保育室から避難する以外にも様々な場所からの避難について子どもたち自ら安全な場所への避難が出来ることを目標に指導をしていく必要がある。</li> </ul>
基本的な生活習慣が徹底できるよう指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の手洗い・うがいでは意識してできるようになったが、早く活動に参加したい気持ち等から怠ってしまう事もあり更に声掛けをし伝え方に工夫をする必要がある。また目線の高さのポスター等を増やし、視覚でも伝えていきたい。</li> <li>園でおこなわれる基本的な生活習慣では繰り返し丁寧に個々の子どもに合った指導をおこなうことで自らが自発的におこなえるようになってきた。引き続き就学を意識した指導を要する。</li> </ul>
心身ともに丈夫な身体作りを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎体力の向上の為、運動遊びを工夫して保育に取り入れていたが、指導者によって差異があるためどのクラスでも同等の目標を持って計画し実践する必要があった。また、教師が子ども達一人ひとりの成長・発達を把握しその子に合った指導を心掛けてきたがより個々の発達や成長を見極め援助する必要があった。</li> <li>・友だちと一緒に協力をしたり、助け合うことで心も成長できる活動を更に考えていく必要があった。</li> </ul>
集団感染の予防・対策を徹底して行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を生かし通園バスに嘔吐セットを設置し、迅速な対応が出来るようになった。</li> <li>・空間除菌と加湿器を各保育室に設置し感染拡大を防ぐことが出来たが、教職員の感染予防を考慮することも必要であった。</li> </ul>
子どもが興味を持てるような環境構成を考え行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達自ら遊びを展開していけるようにコーナー作りを行った。子どもたちは興味や関心を持って取り組むことが出来た。継続して続けていきたい。</li> </ul>
研修で学んだ事を教職員間で共有し保育に活かす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水曜日や長期休業中に実施する研修に参加し幼児理解や保育の向上に役立てることができたが、研修で学んだことを共有できる場や時間の確保をすることが難しく、場や時間の設定を意識的におこなう必要があった。</li> <li>・保育の実践に結びつくような園内研修を計画通りおこなえなかった。来年度は様々な内容を計画し増やし保育の質を向上していく。</li> </ul>
教職員間での報・連・相(報告・連絡・相談)を行い連携を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の反省から教職員間で報告・連絡・相談を意識して行うことができた。</li> <li>・子ども達を安全に保護者に引き渡す際に、保育者によって認識の違いがあった為共通理解が出来ていなかった。</li> </ul>

## 3.計画の総合的な評価

項目を設定し照らし合わせ教員一人ひとりの理解や意識は高まったが、保育者によって認識の差異があるため次年度以降教職員全員が一定のレベルを維持できるような策を講じていく必要がある。
--

## 4.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員会議の重要性、時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議を通して、今年度認識の違いがあった点を再度確認し、共通理解を図り徹底する。また時間を確保し仕事の効率を上げていく。</li> </ul>
危険意識・知識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員一人ひとりが視野を広げて様々なことに意識を向け、気付く為に話し合いの場を設け、実践する。</li> </ul>
園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に園内研修を実施し、保育技術の向上を図る。</li> </ul>